

じゅえき あつ
シラカバの樹液を集めて

年 組 名前

みなみさくぐんさくほまち やちほこうげん じゅえき あつ
南佐久郡佐久穂町の八千穂高原で、シラカバの樹液が集められました。
何のために、どうやって集めたのか、記事を読んでみましょう。

じゅえき
※樹液=木の中にふくまれる水。



高原調
久郡佐久穂町の「黒沢」
酒造は14日、同町の八千穂高原で同社の酒などに使うシラカバの樹液を集めた。幹に刺したいくつものホースから流れ出した。社員らは黙々と樹液を集めていった。
○：この日はあいにくの霧で北八ヶ岳は望めなかったが、黒沢孝夫社長は雄大な八千穂高原で採れた樹液を使った酒を「きれいな風景を思い浮かべながら飲んでみて」。



○：南佐久郡佐久穂町の「黒沢」酒造は14日、同町の八千穂高原で同社の酒などに使うシラカバの樹液を集めた。幹に刺したいくつものホースから流れ出した。社員らは黙々と樹液を集めていった。
○：標高1600以上の樹液を社員らがタンクで回収していったII写真。

①シラカバの樹液を集めたのは、何という会社ですか。また、何に使うための樹液を集めたのですか。

会社名—

何に使うため—

(2021年4月15日朝刊・第一社会面<高原調>)

②シラカバから、どうやって樹液を集めましたか。

③樹液を集めたシラカバの林は、標高何メートルのところにありますか。また、何本のシラカバを町から借りていますか。

ひょうこう
標高—

シラカバの本数—

④シラカバの樹液は、どんな味がしますか。また、樹液は一晚で、どのくらい流れ出ることがありますか。

じゅえき あじ
樹液の味—

ひとばん なが
一晚で流れ出る量—

じゅえき あつ シラカバの樹液を集めて

解答例

年 組 名前

みなみさくぐんさくほまち やちほこうげん じゅえき あつ
南佐久郡佐久穂町の八千穂高原で、シラカバの樹液が集められました。
何のために、どうやって集めたのか、記事を読んでみましょう。

※樹液＝木の中にふくまれる水。



高原調
久郡佐久穂町の「黒沢酒造」は14日、同町の八千穂高原で同社の酒などに使うシラカバの樹液を集めた。幹に刺したいくつものホースから流れ出した。社員らは黙々と樹液を集めていった。
○：この日はあいにくの霧で北八ヶ岳は望めなかったが、黒沢孝夫社長は雄大な八千穂高原で採れた樹液を使った酒を「きれいな風景を思い浮かべながら飲んでみて」。

○：南佐久郡佐久穂町の「黒沢酒造」を社員らがタンクで回収していったII写真。
○：標高1600mほどの町有林のシラカバ約80本を借りて20年以上続けている。ほのかな甘味がある樹液が、一晩で4%近く流れ出ることもある。

①シラカバの樹液を集めたのは、何という会社ですか。また、何に使うための樹液を集めたのですか。

会社名— 黒沢酒造

何に使うため— 同社の酒など

(2021年4月15日朝刊・第一社会面〈高原調〉)

②シラカバから、どうやって樹液を集めましたか。

【答え】 幹に刺したいくつものホースから流れ出した樹液を社員らがタンクで回収していった

③樹液を集めたシラカバの林は、標高何メートルのところにありますか。また、何本のシラカバを町から借りていますか。

標高— 1600mほど

シラカバの本数— 約80本

④シラカバの樹液は、どんな味がしますか。また、樹液は一晩で、どのくらい流れ出ることがありますか。

樹液の味— ほのかな甘味がある

一晩で流れ出る量— 4%近く